

「男女平等参画のための東京都行動計画 平成23年度取組実績」

12 公益社団法人東京都看護協会

旧行動計画(チャンス&サポートプラン2007)記載の内容	23年度取組実績
1. あらゆる分野への参画の促進	
(3)仕事と家庭・地域生活の調和がとれた生活の実現	
①「仕事と生活の調和」(ワーク・ライフ・バランス)の実現	
<p>医療施設におけるワークライフバランス推進 ワークライフバランス推進のため、希望する医療機関がインデックス調査を実施し、それをもとに現状改善のためのワークショップを実施します。</p>	<p>都内医療機関へ、インデックス調査及びワークショップへの参加をよびかけ 看護職の働きやすい職場づくりに向けたセミナー7月25日 52名参加 9月7日・8日ワークショップ 5施設参加 平成24年1月9日フォローアップワークショップ 73名参加 ワークライフバランスに関するインデックス調査実施 6月13日～27日 19施設参加</p>
③ 介護・高齢者に対する支援	
<p>看護フェスタ2011、まちの保健室 都民を対象に看護の心を伝えるとともに、健康チェックや健康相談・医療、介護相談、進学相談、高齢者体験、妊婦体験、救急蘇生(AED)体験等を実施します。</p>	<p>5月15日 新宿駅西口イベント広場で看護フェスタ開催 他医療関係団体の協力を得て、健康チェック、健康相談、進路相談、体験コーナー等実施し、都民838名参加 まちの保健室は、都立中央図書館で年3回開催 6地区で、毎月1回または、9～10月に駅コンコースや公民館、公園などで健康チェック・健康相談などを実施 都民参加総数2,199名</p>
2. 人権が尊重される社会の形成	
(2)生涯を通じた男女の健康支援	
ア. 出産・育児準備支援等	
<p>新しい生命を夫婦で心豊かに迎え、子育てを楽しみ、子どもの成長とともに親もまた成長してほしいという願いから以下の事業を実施します。</p>	
<p>(1)両親学級 妊娠・出産・育児に関する正しい情報や夫の役割などをわかりやすく伝え、出産、育児に対する不安を解消します。</p>	<p>両親学級は、毎月第2、第4土曜日開催 計486組参加</p>
<p>(2)すくすくフェスタ 両親学級に参加した出産後の親子を対象に子育て支援事業としてイベントを開催し、産後の相談・育児相談・ベビーマッサージ・月齢に合ったお遊びなどを実施します。</p>	<p>10月8日、生後3カ月以上1年程度の児を持つ、初めての子育て中の両親と児を対象に実施 24組参加</p>
イ. 各年代に応じた健康支援	
<p>まちの保健室(地域住民健康支援事業)、心と身体について、気軽に相談できる場所として「まちの保健室」を設置し、疾病予防と健康増進を図り、健やかな暮らしを支援します。</p>	<p>まちの保健室は、都立中央図書館で年3回開催102名参加 6地区で、毎月1回または、9～10月に駅コンコースや公民館、公園などで健康チェック・健康相談などを実施1,804名参加</p>
<p>エイズ・ピア・エデュケーション 性的接触から感染する機会が多いエイズ等の感染症や望まない妊娠を予防するため、同世代の仲間同士でエイズのことを考える「エイズ・ピア・エデュケーション」により、青少年への正しい知識・予防行動促進等の普及啓発を実施します。</p>	<p>6月11日・12日エイズ・ピア・エデュケーターの養成研修実施 10名参加 中学校・高校・大学等でのエデュケーション実施 9校訪問計12回実施</p>
3. 男女平等参画を推進する社会づくり	
(1)教育・学習の充実	
ア. 学校での男女平等	
<p>看護職をめざす高校生を対象に、一日看護体験を実施します。</p>	<p>7月23日～31日 都内医療機関で看護体験を実施 中学生143名 高校生1,010名 社会人101名 計1,254名</p>